

## 福島県・原発周辺の町を知る

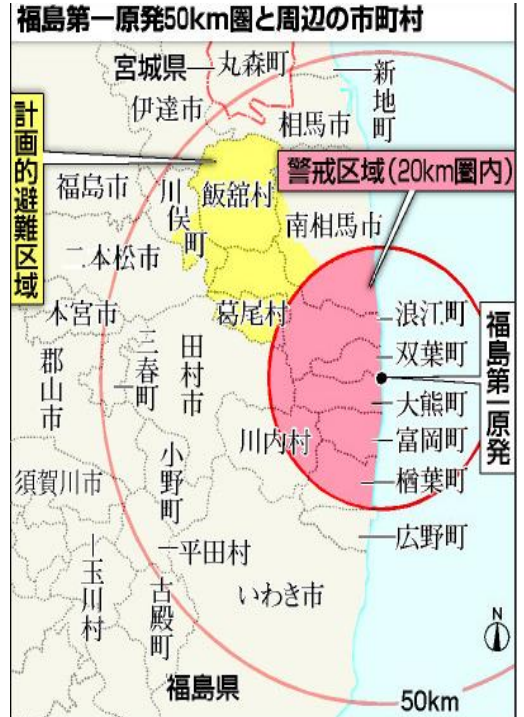
福島第一原子力発電所の事故で避難生活を余儀なくされている人々が今なお7万7千283人います。国は3月時点で安全が確保されたとして「避難解除」を出しました。しかし、原発事故の被害が大きかった地域へ帰還する人は少ないようです。委員会は、被災者のお話を聞く機会は今までもあったのですが現場で働いている人の話を聞く事も福島の現状を知る一つだと考えました。

### Q. どこでどんな除染作業をされていますか？

福島県では会津地方・中通り・浜通りと3つの地方に分かれていて、やはり放射線レベルが高いのは浜通りの双葉町が断トツです。除染の作業にも色々あって、大きく分けたら、住宅除染や道路除染や農地除染や森林除染などがあります。一応それら全部やりました。一番手が掛かるのは住宅除染で、屋根・外壁・ベランダ・庭木・フェンスや手摺り等を全て除染対象にしてやっています。

### Q. 被災者の方はどんな様子ですか？

一生家には帰れない被災者もいます。帰れるのに帰ってこない人達が約半数を占めています。除染作業は、実際に住んでいる家で作業をする時もありますが、除染作業を理解して下さる方はなかなか多くありません。何度も門前払いをされたりもします。見知らぬ人が家に入り除染作業をするため、不安な面もありますから仕方ないかも知れません。それでもこなしていかなければならない物件が山のようにあるので作業をしていきます。被災者の中には泣きながらお礼を言ってくださる人もいます。休憩の時なんかは必ずジュースやお菓子なんかを用意してくれたり、どれだけ断っても昼食や夕食を準備して下さり、ご馳走になったこともあります。



## Q. 大変な事は？      どんな気持ちですか？

作業がきつい。その上、除染作業への理解が得られない時は、なんで内部被爆のリスクを背負ってまで危険地区で除染作業をしているのかと思うと、京都に帰りたくなります。

## Q. 現在の主な仕事はどんな事ですか？

いまは除染ではなく、一生帰って来ない地権者の物件を解体する作業をやっております。浜通りでは、浪江町、双葉町、富岡町が多いです。僕は富岡町で解体作業をやっていました。除染作業の時より5倍しんどくて給料も少し落ちます。

## Q. 作業を行なっていて何か感じている事は？

確かに原発ゼロというのは大事なことかもしれませんがね……いまでは風力発電や太陽光発電に切り替わっている国や地域が急激に増えています。震災で原発事故を起こしたのは実際のところ人員ミスだとも聞いています。

今回このお話を友人のお父さんに聞いて、「復興はまだまだ」だと思いました。これからも、被災地の現状をいろんな面から知っていきましょう。そして、復興の日まで応援を続けていきましょう。

実行委員長

# 保護者のみなさん 有難うございました！

先月24日（土）に授業参観と保護者懇談会が行われました。この日ハ、新入生の保護者の皆さんにご購入頂いた「被災地応援文房具」と、「募金」の総額は以下の通りです。本当にどうもありがとうございました。オリジナルボールペンと、付箋は引き続き体育祭でも販売します。また、毎月11日の登校時に正門にて募金をお預かりいたします。それにもご協力のほど、よろしく願い申し上げます。



オリジナル文房具 ¥13,600

募金 ¥2,500

